

岡山県中小企業診断士会会報



一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

2017年12月15日発行（第12号）

ごあいさつ

■□代表理事・会長 安藤 覺□■

“一段と注目を集める中小企業診断士”
《時代は我々を求めている》



多くの士業の中で目立たない存在であった中小企業診断士に、今スポットライトの照明が当たり、社会の期待が想像以上に盛り上がってきています。

日本中で同じ傾向と思われませんが、この岡山県にお

いても経営コンサルタントの国家資格保有者であり、中小零細企業に的確な経営上のアドバイスをすることが出来るのは中小企業診断士しかいない、という認識が急速に広がってきています。実際、今まで我々とお付き合いの無かった分野の関係者の方々から、ぜひ一度お会いして話をさせてほしい、協力して欲しい、という依頼が診断士会に多く寄せられています。

そのような状況下で、岡山県信用保証協会様や岡山市、倉敷市、新見市、岡山県生活衛生指導センター様等、従来から付き合いのある先からは、専門家派遣等で前年以上の仕事の依頼が我々に寄せられています。また、上記以外に昨年度までは無かった新しい取り組みが実現したり、実現に向けて進んだりしています。

赤磐市からの要請により、今年の10月から週3日会員診断士を赤磐市産業支援センターに派遣する事業が始まりました。また、倉敷市文化産業局農林水産部からは、農家の経営意識醸成、及び農家に対する経営指導を導入するため岡山県中小企業診断士会に協力要請があり、11月には倉敷市主催で初の農業経営に関する研修会が企画・実施され、会員診断士5名が参加し農家との交流を深めました。倉敷市としては今後も研修会を実施しながら、中小企業診断士と農家とのかかわりを強化していきたいという意向です。また、岡山県保健

福祉部からは、社会問題となっているA型事業所に対する経営診断を岡山県中小企業診断士会で実施して欲しいという依頼も来ています。補正予算が通れば今年度中に実施していく予定であり、2018年度も継続した活動が期待されています。

少子高齢化に伴う構造的な人手不足という環境下で、第4次産業革命が進行していくとともに、企業には生産性向上を伴った働き方改革が強く求められてきています。事業を成長させながら労働条件を改善していくという難しいプロセスが企業に求められています。今後ますます人手不足が深刻化していく中で、生産性向上を伴った働き方改革を実行できない企業は淘汰されていくことでしょう。この困難な課題を経営者と一緒になって考え、ナビゲートできるのは中小企業診断士しかいません。『時代は我々を求めている』…いよいよ中小企業診断士が大活躍する時代が到来したのです。

《より活発な診断士会活動に向けて》

11月8日に開催された中小企業診断士の日記念行事の『経済講演会』は予想以上の大盛況でありました。三橋貴明氏という著名な方を講師として招いたとはいえ、有料でありながら経営者等の会員以外の参加者が100名以上集まったというのは、岡山県中小企業診断士会の歴史上画期的な出来事と言えるでしょう。中小企業診断士の知名度アップに大いに貢献した行事となりました。事前準備や当日の会場整理などに当たっていただいた会員、また経済講演会に参加された会員の皆様には深くお礼を申し上げます。

新年1月7日（日）新春フォーラムでは、毎年岡山県内の話題性のある企業経営者を招いて講演会を開催していますが、今回はマスクングテープで有名なカモ井加工紙(株)嶋井尚志社長様をお招きして講演していただきます。この新春フォーラムには会員を中心に50名以上の参加者を期待しています。また、講演会後は嶋井社長様も参加されての新年会が開かれます。この新年会にも40名程度の参加者を期待しています。

一年の間には様々な行事が開催されますが、多くの会員診断士が積極的に参加され、会員同士の交流を深めていただきたいと願っています。岡山県内での中小企業診断士の地位向上のためには、診断士会がより活発な活動を展開していくことが必要ですが、そのためには会員診断士が診断士会行事に積極的に参加して、診断士能力の向上を図るとともに会員同士の交流を深めることが重要であると考えています。

中小企業診断士が期待される時代に生きる我々診断士は、これからもチャレンジ精神を忘れることなく、前を向いて積極果敢な行動を起こしていこうではありませんか。

中小企業診断士の日 記念事業

◆◆中小企業診断士の日記念事業経済講演会◆◆

経済評論家・中小企業診断士としてご活躍の三橋貴明先生をお招きし、「日本経済の真実～経済成長の絶好の機会が訪れた！～」をテーマに開催しました。会員診断士 30 名に加え、経営者、ビジネスマン、学生など一般の方約 100 名もご参加。三橋先生は、徹底した真実（データ）の分析に基づいて、この国の在り方（経済、政策など）について熱弁され、参加者の満足度はとても高いものとなりました。



更新研修修了

日時 平成 29 年 9 月 30 日（土）

12 時 50 分～17 時

場所 ママカリフォーラムレセプションホール

受講者数 175 名

<必須科目①>

「新しい中小企業施策について」

中国経済産業局 産業部 中小企業課

課長 補佐 藤村 俊文 氏

<必須科目②>

中小企業の IT 利活用支援 講義

中小企業診断士 太田 文男 氏

<演習>

中小企業の IT 利活用支援 演習

中小企業診断士 太田 文男 氏

「新しい中小企業政策について」では中国産業局の藤村様より施策背景等を含めた丁寧なご説明いただき、受講者の理解が深まりました。事業承継や労働生産性向上など、個々の重点テーマ・支援方針がよく分かり、診断士としての支援の方向性を確認できました。

「中小企業の IT 利活用支援」では、事例を交え



たわかりやすい説明とディスカッションにより活気ある研修となり、アンケートでも高い評価が大半でした。

新春フォーラム開催のご案内

◆◆1月新春フォーラム・新年会 1/7(日)◆◆

日時：平成 30 年 1 月 7 日（日）15:00～

場所：ピアリティまきび

（岡山市北区下石井 2 丁目 6-41）

講演会 15:00～17:00

新年会 17:00～19:00

テーマ

「カモ井のものづくり ～m t 誕生秘話！～」

講師 嶋井 尚志 様

会費 講演会 無料

新年会 2,000 円

今回は、カモ井加工紙株式会社 代表取締役社長 鴨井尚志様にご講演いただきます。

同社は、全国で、世界で注目されている mt (マスキングテープ) を製造、販売。

ヒット商品の誕生秘話を聞けるまたとない機会です。

なお、フォーラムの後、新年会もあります。

みなさまのご参加をお待ちしております。

☆今後のフォーラム予定☆

(H30) 3/11、5/13

フォーラムで発表等、ご希望の方は、事務局までご相談ください。

また第二弾として、額田信一先生より「失敗事例も伝えたいノウハウ承継」をテーマにご講義いただきます。こちらは、12/24、2018/1/28、3/4の予定で参加者募集中ですので、参加希望の方は事務局までお申し込みください。(参加費無料)



第5回 士業連携フォーラム

日時 平成 29 年 9 月 22 日 (金) 18:00~20:30

場所 ピュアリティまきび

岡山市北区下石井 2-6-41

参加費用 6,000 円

内 容

岡山自由業団体連絡協議会が主催し、第 6 回 士業連携フォーラムが 9 月 22 日 18 時から、ピュアリティまきびで開催されました。

士業間の垣根を越えて積極的な情報交換、名刺交換等を行い、連携が強化できるよう懇親会も開催されました。

当日は懇親会の前に、行政書士会と土地家屋調査士会が各士業の紹介を行いました。

なお、参加士業は以下の通りです。

弁護士会, 税理士会, 司法書士会, 日本弁理士会

土地家屋調査会, 不動産鑑定士協会

行政書士会, 社会保険労務士会

公認会計協会, 中小企業診断士会

ノウハウ承継事業

ノウハウ承継事業については、第一弾として加藤珪一先生のノウハウ承継研修を開催しました。

「プロコンサルタントとして独立するために」をテーマに 10/22、11/5、11/26 の 3 回に渡ってご講義いただき、総勢 14 名の方にご参加いただきました。

海外視察事業

海外視察事業につきましては、2018 年 6 月 21 日(木)~24 日(日)に台湾・台北を視察することで決定いたしました。

お申込みの詳細が決まりましたら、メーリングリストにてご連絡いたしますので、ご関心のある方は、今から日程の確保をお願いいたします。

研究会事業の活動予定

●○地域活性化研究会○●

地域活性化研究会では、地域活性化のための観光振興をテーマとして調査研究を行っています。現在研究会メンバーは 8 名(荒木、安藤、小川、大西、太田、加藤、津田、松本)です。県内各地の観光振興の状況を視察するとともに、定期的(ほぼ毎月)に研究会を開催し、メンバー間で情報交換やディスカッションを行っています。

平成 29 年度は基礎研究・情報分析を位置づけとした研究会を進めており、平成 30 年度からは本格的な研究に入っていく予定です。



●○ソーシャルビジネス研究会○●

ソーシャルビジネス研究会では、ソーシャルビジネスに取り組む事業者のヒアリングや、行政の支援施策についての研究等を行う予定です。

●○循環ビジネス研究会○●

～株式会社メキシケム ジャパンのフロン破壊工場の視察～

日時 平成 29 年 10 月 12 日 (木) 10:00～11:30
場所 株式会社メキシケム ジャパン

(広島県三原市円一町 1 丁目 1-1)

参加者 黒江正行、藤原康正、國米泰弘、
藤原敬明

昨年 10 月に平林金属(株)のリサイクルファーム御津視察時に、冷蔵庫に使われるフロン(冷媒)の処分は三原市で行っているとの話から、今回の視察を実施しました。

1920 年代には冷蔵庫等にアンモニアが冷媒として使用されていましたが、人体に有害なアンモニアに替わって科学的に安定で、熱にも強いフロンが開発され「夢の化学物質」ともはやされました。しかし、1980 年代になると大気中のオゾン層を破壊の可能性から一転して回収し、破壊が義務付けられました。そこでオゾン層破壊のないフロン 134a(自動車用)が開発されました。しかし、地球温暖化効果が高く、回収と破壊の義務は継続されています。

視察工場は当初英国 ICI と帝人(株)との合弁で 1992 年に設立され、翌年にフロン 134a の生産を開始しました。2001 年 1 月にはイオスグループ 100%子会社となり、更に 2010 年 4 月にメキシケムグループ 100%の会社となりました。その間、施設の所有者は変わりましたが、そこで働く社員は帝人(株)からの出向者が携わっていました。しかし、来年には社員もメキシケムジャパン(株)に移管されるとのことです。

フロンはトリクロロエチレンとフッ化水素を原料として作られています。フッ化水素は蛍石を原料として作られ、親会社メキシケムは世界最大規模の蛍石の鉱山をメキシコに所有しています。しかし、この工場に使われるフッ化水素は輸送費の関係で中国産が使われています。

創業当初から製品製造の際に不純物を含むガスを焼却する施設を持っていたため、フロンの破壊事業に参入しました。フロンの破壊は 1200 度で 2

秒保持することで行います。現在は破壊専用の施設を増設し、年間 2600 トンの破壊能力を持ちます。

視察時は定期修理期間であり、施設は稼働していませんでしたが、施設の近くで見ることができました。フロン 134a を生産する日本で唯一の工場であり供給責任を強く感じていました。フロン 134a は喘息吸入医薬にも使用されるほど精製能力があり安全性も高いですが、既に次世代代替フロンが開発されており、新しいフロン生産の段取りもしていました。

自動車リサイクル法ではフロンは破壊のみが行われ、破壊会社は入札で決められています。家電同様にリサイクルが認められていれば、中国からのフッ化水素の輸入も減らせると残念に思いました。現在、自動車のフロン破壊は入札により岡山



の会社が行っています。三原の工場は主に冷蔵庫等の家電のフロンの破壊とリサイクルを行っています。

～地域の余ったモノを染色に使う立花テキスタイル株式会社～

地元の余ったものを活用して染色した尾道帆布を作っている立花テキスタイル株式会社を訪れました。現在は 1 軒のみとなった尾道帆布の工場の一角に間借りして工房兼販売店としています。会社を立ち上げた新里かおりさんから話を伺うことができました。日曜日に RCC ラジオで「うららか日曜日」のディスクジョッキーをしていて、時々全国放送のテレビ番組に出ているため、知っている人も多いと思います。

新里かおりさんは埼玉県出身で尾道とはつながりはなかったようですが、尾道市(向島)の立花地区の識字率向上という社会問題解決のために尾道を訪れたそうです。高齢者は観光目的で訪れるが、若い人は社会問題が引き付けるように思われます。なお、会社名の立花はこの立花地区からとったそうです。

新里かおりさんは当初は尾道と関東を行き来していましたが、平成 20 年に尾道市に移住、NPO 法人工房おのみち工房に就職し翌年独立しました。武蔵野美術大学で染色技術を学んだこともあって、

独立当初にはものづくり補助金等を使用し、草木染の堅牢性等を調査し、これが今日の事業の基礎となっているようです。しかし、単なる草木染であれば全国どこでも行うことができ、思いどおりの色を出すために媒染剤として金属イオンを使うと環境負荷を高めてしまいます。身の回りにある余ったものを使うことでスムーズなものづくりを目指すようになったそうです。

近くの造船所で余っている鉄粉を使った鉄粉プリント、家具工場から出るウォールナットの端切れ、干し柿農家の摘果した実から作られる柿渋等を使った染色を行っています。ウォールナットを使用した染色は児島の会社に外注しています。今までのものづくりは競合品より低価格を追求することが多く、劣化が進み限界に達していました。これからは付加価値の高いものづくりに転換する時期に来ています。そのことを児島の会社も理解していることから、化学染料よりも手間がかかるが将来のことを考えて引き受けてくれています。

また、耕作放棄地を藍栽培に使い、愛媛県の弓削島では綿の栽培を行い、大阪の会社で製糸し、糸で染色し、うね織りで製品に使っています。もうひとつ地域にある資源を使うことによって、他の会社との差別化にもなっています。

更に、尾道帆布という共通の素材を使い、複数の女性が雑貨の製作に取り組んでおり、子育て世代の人が空いた時間を有効に使えるビジネスモデルを提供しています。事務所の片隅で縫製を教え、視察中にはデジタルプリントを使ったトートバックを持ってくる女性がいて、尾道帆布であれば売ってもらえます。



製品に低価格は重要であり、地域の余っている物を有効に使うことによって無理のない低価格を実現しています(製品

価格は大量生産した工業品よりは高いが)。更に、地域にこだわることによってニッチな事業として差別化を行っています。

循環ビジネス研究会は産業廃棄物業者の経理的基礎の診断を真摯に行うとともに、そのため、知識の補充として視察を今後とも実施する。

企業内診断士事業委員会

本年度は、8名の企業内診断士の方々が参加しています。今回の事業では、2つの事業内容を提案させていただき、参加者の意向で選択してもらいました。

4名の方が、プロコンの先生のご指導の下、経営力向上計画の策定支援事業に参加しています。日常の企業内業務では経験することのできない中小企業診断士としての実務を経験しており、今後、中小企業診断士として活躍していくために必要な貴重な経験をしています。

他の4名の方は、某紙業メーカーの新規事業の販売戦略策定支援事業に参加しています。新規事業を新たな経営の柱にしていきたいと思案されている若手経営者のお力になれるよう、企業内診断士のメンバーが今までに企業内で培ってきたスキルと中小企業診断士としての専門知識を融合し、売上向上に繋がる具体的な提案ができるよう知恵を絞っています。経営者の伴走者となり中小企業経営を盛り上げていくために必要な中小企業診断士としての実践的な経験をしています。

無料相談会

【しんきん合同ビジネス交流会にて開催】

日時：平成29年9月13日(水)

場所：コンベックス岡山

相談員：黒田俊彦氏、赤田啓介氏

相談企業 4社

岡山県中小企業診断士会ブースにおいて、ブース来訪者に対する無料相談を実施しました。



【10社合同無料相談会開催予定】

日時：平成30年1月22日(月) 9:30~16:00

場所：岡山会場：岡山市役所7階大会議室

倉敷会場：倉敷市役所10階大会議室

津山会場：津山本庁舎2階大会議室

相談員：岡山 加藤弘治氏 倉敷 玉置定男氏

津山 大西 修氏

受託事業

平成 29 年 11 月現在
岡山県信用保証協会アシスト事業（114 件）
岡山市企業支援補助金事業（12 件）
倉敷市経営相談（15 件）
岡山県生活衛生営業指導センター経営相談（5 件）
新見市経営相談（8 件）
産廃診断（1 件）
岡山県森林組合関連企業（1 件）
赤磐市産業支援相談業務
岡山県産業振興財団プロフェッショナル人材事業

会員投稿

平成 29 年度岡山県森林組合監事研修会

会員 國米 泰弘

平成 29 年度岡山県森林組合監事研修会（岡山県森林組合連合会主催）が 11 月 22 日午後、テクノサポート岡山（岡山県産業振興財団）の中会議室で実施され、この中で「森林組合監査の実務とグループワーク」をテーマとして講師、ファシリテータ役を担当しました。

岡山県内には 11 の森林組合がありますが、関係者 34 名の監事が集まり実施されました。森林組合の監事とは一般企業でいう監査役のような立場です。事前準備した資料は以下のようなものでしたが、事前に用意した演習 4 題を中心に行い、残された時間で必要とされる会計面と人事労務面の背景知識について補足しました。

なお背景知識の一つとして、稲盛和夫氏のアメーバ経営について日本航空の V 字回復を例に、成果の正確な測定がカギとなること、また原田メソッドとして知られるコーチング手法に基づき大谷翔平さんが高校 1 年生時代に作成したオープンウインドウ 64 として知られるチャートを紹介したところ強い関心を持ち受け止めていただけたようでした。

会計については、粉飾などによるリスクがあることは、最近の大企業の例でも知られているところで重要なテーマですが、もうひとつ、岡山県森林組合連合会の担当者との事前の打ち合わせで、川上恵三先生から「働き方改革」という近年のトレンドから、人事労務のテーマについても研修で取り入れてほしいとの要請があり、演習問題は主として人事労務に関する問題を入れました。労務問題では、採用から退職に至る過程で、解雇、時

間外手当、募集の年齢制限、均等待遇、最低賃金、休日など様々な問題が生じます。今後は、“ヒト”に係る取組みがますます重要になってくることを鑑み、わたしたち診断士にとってこうした労務リスクに加え、組織活性化、モチベーション向上などのテーマは避けて通れないテーマとなっています。

会計編

損益計算書の仕組み

貸借対照表の仕組みとお金の流れ

事例紹介

- ・成果の正確な測定の意義
- ・粉飾決算の事例
- ・簡単な実践例と業務監査の事例紹介

人事労務編

管理者として知っておきたい労務リスク

「人事・労務管理」のポイント

「人事制度」のポイント

演習事例 1～4



『小規模事業者持続化補助金』採択のための 5 つのポイント

会員 枝 純一郎

1. 分かりやすさ

補助金申請においては、専門用語ではなく平易な言葉を使うよう心掛けてほしい。また、写真を使ったり、グラフを使ったりすると、審査員にとってビジュアル的で理解しやすいです。

2. ストーリー

①商品・サービスを作りだした思い、②今までの取組、③将来の市場予測、④これからの方向性、⑤具体的な販売促進策等を順序立ててストーリー化することが重要です。

3. 新規性

採択を受けるためには少なからず「新規性」は必須です。ただし、日本初とかではなくて、自社にとって初めての取り組みであれば十分。

4. 地域貢献性

補助金＝税金である以上、「地域貢献性」は必要です。自社のみが良くなるのではなく、地域の課題が解決されるような事業に取り組んでいただきたい。

5. 社長の熱意

「会社を良くしてやるのだ」「この事業を成功させてやるのだ」といった気持ちを込めて書けば、文章が上手でなくても審査員の心に響く申請書ができると思います。

新会員ご紹介

■□ 乙倉 淳 □■

百貨店に25年間勤務し、現在グループのレンタカー会社に出向しています。商店街の方々にご縁をいただき実務経験を積んでいます。

【自己PR・得意分野】

流通業の経験を基に、「人と人を繋ぐ」ことでお役に立てる診断士になりたいと思います。

■□ 高橋 誠二 □■

大学卒業後、金融機関で約24年勤務いたしました。

融資担当者として、さまざまな業種のお取引先から、経営に関するたくさんのお話を学びいろいろな融資案件に携わったことは良い経験になりました。

【自己PR・得意分野】

この経験を生かし、財務改善や資金繰り改善のサポートを行っています。

お客様に寄り添った支援を信条としています。

■□ 山西 良明 □■

吉備信用金庫に勤める27歳の新人診断士です！金庫では、営業→営業支援・経営支援→審査を経て、再び経営支援の職務に就いています。モットーは「仕事にワクワクを」。社長さんの「やりたい」を実現するために頑張ります！

【自己PR・得意分野】

特定の得意分野はまだありません。事業再生分野に興味がありますが、他にも創業、経営革新等、実務経験を積んでいく中で、自分なりの色を見つけていきたいと思っています。

会員の消息

<新会員>平成29年7月以降入会

乙倉 淳 氏、高橋誠二 氏 山西良明 氏

会員発行書籍のご紹介

◆会員の加藤弘治氏が観光冊子を出版されましたのでご紹介いたします。

「2017年版 観光ビジネス未来白書：統計に見る実態・分析から見える未来戦略」



観光ビジネスの全体像を分類し、統計的数値をもとに実態をビジュアルに示して、その方向性と未来戦略を提示する。

観光戦略の企画・立案を目指す自治体・研究者・学生・ビジネスマンに最適の1冊。

(同友館 OnLine ホームページより)

◆会員の岡田貞夫氏がコストダウンの冊子を出版されましたのでご紹介いたします。

「今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしいコストダウンの本 第2版」

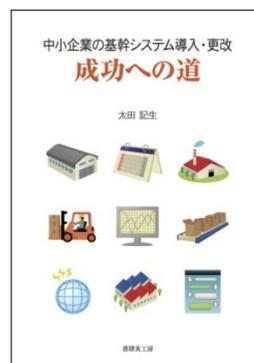


開発設計や生産準備、調達など上流部門と製造が連携して効果を上げるコストダウンの進め方を中心に解説する。2005年の初版発行以降、5刷まで到達した好評企画を大幅に刷新。生産条件の多様化やIoT活用時代に対応したコストダウン展開手法を図解でやさしく紹介する。

(日刊工業新聞ホームページより)

◆会員の太田文男氏がITコンサルティングに関する冊子を出版されましたのでご紹介いたします。

『中小企業の基幹システム導入・更改 成功への道』



100社を超える中小企業の経営コンサルティング・ITコンサルティング実績を持つ著者が考える中小企業の基幹システム導入・更改におけるベストプラクティスとは何か。中小企業の命運を左右する「基幹システム導入・更改」にフォーカスし、著者の長い経験で培ったノウハウを著す。

(ITプラン株式会社ホームページより)

書籍のご紹介

リチャード・セイラー『実践 行動経済学』日経BP社、2009.



“使える”行動経済学の全米ベストセラー
本書のテーマ「ナッジ」(NUDGE)は、「肘で軽く相手をつついて、その注意を促したり、ある行為を勧めたりするしぐさである」。例えば、パソコンに現れる「この文書は変更されています。保存しますか?」という親切的な警告画面に似て

いる。この機能のおかげで、我々はせっかくの作業を無駄にしてしまうリスクを免れる。社会生活上のもっとずっと複雑で、まれにしか直面しない数々の場面—医療、貯蓄、借金、投資—で、こうした“オスズメ”行為のアドバイスがもらえるとしたらどうだろう?民間や公の制度・仕組みの中にそのような“ナッジ”が組み込まれていれば、社会はもう少し暮らしやすくなるはずだ。(日経BP書店ホームページより)

クレイトン・M・クリステンセン『ジョブ理論 イノベーションを予測可能にする消費のメカニズム』2017.



世界でもっとも影響力のある経営学者にしてイノベーションの権威、クリステンセン教授が「人がモノを買う行為そのもののメカニズム」を解き明かした、全ビジネスマンにおくる完全保存バイブル。(ハーパーコリンズホームページより)

事務局からのお知らせ

◇「中小企業診断士の仕事」PR動画に応募◇

岡山県は審査委員会特別賞を受賞しました。動画はYoutubeの「中小企業診断士チャンネル」で公開中です。

◇平成30年度 定時総会開催予定◇

日時: H30年6月9日(土) 15時~17時
懇親会 17時~19時
会場: ピュアリティまきび

◇平成30年度 理論政策更新研修予定◇

日時: H30年9月8日(土) 12時50分~17時
懇親会 17時~19時
会場: 岡山コンベンションセンター
レセプションホール

◇中国ブロック勉強会開催予定◇

平成29年度中国経済産業局様を招いての中国ブロック勉強会を平成30年1月26日に岡山市内「ザ・マグリット」にて開催いたします。
日程: H30年1月26日(金) 15:00~
場所: 岡山市内「ザ・マグリット」
テーマ: 「中国経済産業局様との情報交換及び中国ブロック5県の情報交換」
内容: H29年補正、H30年度施策・予算、Q&A、懇親会他
講師: 中国経済産業局中小企業課長様 他

中国5県の役員12名と中国経済産業局中小企業課担当者3名、合わせて15名の参加者で開催されます。開催県である岡山県からは5名の理事が参加します(安藤・松本・下林・大原・太田)。

各県協会の活動内容紹介及び国の施策に関する情報交換や質疑応答が主目的ですが、懇親会で中国5県及び中国経済産業局との親睦を深めていきたいと思っています。



総社市 宝福寺

編集後記

来年は「いぬ」年です。ワンダフルに飛躍できますよう、お祈り申し上げます。

岡山県診断士会会報 第12号
平成29年12月15日 発行
一般社団法人岡山県中小企業診断士会
〒700-0907 岡山北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル8F
Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554
発行人 会長 安藤 覚
編集人 専務理事 松本 直也

